

北広島 商工会 だより

令和2年3月1日号
第115号

会員の状況
(部会の重複加入あり)

会員	772名 (+ 2、- 4)
商業	457名 (+ 2、- 3)
工業	370名 (+ 0、- 1)
青年	62名 (+ 0、- 0)
女性	57名 (+ 1、- 0)

※+加入人数、-脱退人数

発行 北広島商工会事務局
責任者 事務局長 浜田 薫
〒061-1121
北広島市中央5-7-2
TEL 011-373-3333
FAX 011-373-3212
shokokai@kitahironavi.or.jp
http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)



今回の意見交換会は第1回目ということもあり、具体的な決定事項はありませんでしたが、今後連携を深め、具体的な成果を出す第一歩となりました。

〈商業部会〉
〇(株)デントサービス札幌
鎌倉 悟 様
西の里 348-4
〇しよくばんとワッフル
yukai.pan
平山 ゆかり 様
共栄町1-18-1 鈴木ビル

新会員紹介

■新年交礼会 〜名刺交換・異業種交流が 活発に行われました〜



1月10日、札幌北広島クラッセホテルで当商工会主催の「新年交礼会・大名刺交換会」を、上野市長を始め、和田衆議院議員、小岩道議会議員、野村市議会議長、会

員、関係機関等233名のご参加をいただき開催しました。
冒頭、藤山会長は当会創立50周年記念事業として昨年11月11日に式典・祝賀会を、11月21日には北海道にゆかりのある日本スポーツ界の一端で活躍した方々による「北広島みらい創生フォーラム」を開催し、多くの方に来場していただいたことを報告しました。

また、ボールパークの建設工事がいよいよ始まり、今後とも計画推進に積極的に協力し、大きく変化する街づくりにも関わっていくことを述べました。
来賓あいさつでは、北海道日本ハムファイターズとファイターズスポーツ&エンターテイメント代表取締役社長の川村浩二様がボールパークプロジェクトの進捗状況を報告。今後とも北広島市および当商工会と連携しながら、地域の皆様が愛着と誇りを持つ北海道のシンボルとなる施設・空間を目指すことを表明されました。



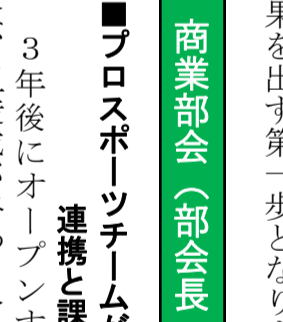
新会員の紹介では12事業所が自社を

■ファイターズ スポーツ&エンターテイメント訪問

北海道ボールパークFビレッジの建設工事がいよいよ今春より始まることから、藤山会長、山田副会長、富田副会長が2月19日に札幌ドームで、日本ハムファイターズ兼ファイターズスポーツ&エンターテイメント代表取締役社長川村浩二氏、取締役管理統轄部長福田要氏とお会いし、工事および資材の調達や工事関係者の飲食などについて地元企業を活用いただくよう要請しました。川村社長は、工事期間中は千人を超える工事関係者が北広島市に入ることになる。球場本体以外の建設計画も進んでくる。様々な工事や資材調達などがあり、可能なものはできるだけ地元企業の協力を得ながら進めていきたい。また、ファイターズの応援についてもお願いしたいとのことでした。

当商工会は、今後とも北海道ボールパークFビレッジ建設に協力していくとともに、ファイターズを応援する取り組みをまいります。

■ボールパークTシャツ売上の一部を 市長に届ける



当商工会では今年度、市と日本ハムファイターズで製作したボールパークTシャツを市民向けに販売。これまで516枚

を販売し、2月20日に売り上げの一部516,000円を藤山会長から上野市長に手渡ししました。このお金はボールパーク構想推進に活用されます。今後販売しますので、ご購入ください。

■連携協定の具体化について協議 〜星槎道都大学との意見交換会開催〜

2月26日、商工会館において星槎道都大学の正木理事長や山本学長ほか6名と当商工会の藤山会長ら7名で連携協定を具体的に進めるための意見交換会を開催しました。

当商工会と星槎道都大学は、平成28年9月に「包括連携・協力に関する協定」を締結し、経営発達支援計画の評価委員や全国展開支援事業の委員を派遣し、連携の強化を目的に開催されました。

意見交換会では、正木理事長から大学や学生たちの取り組みについて説明があり、その後ボールパークへの関わり方やスポーツによる地域活性化について話し合い「お互いの強みを活かして地域活性化

■プロスポーツチームがくる！ 連携と課題・・・手法は？

3年後にオープンするボールパークは、粗造成が終わり今春より本格的な工事が始まります。そこで今年度はプロスポーツと商店街や地域の連携、課題などを研修するためプロバスケットボールチームのある新潟県長岡市を訪れました。

長岡市は周辺の自治体と合併し、人口は約27万人で支所が10カ所。現在も旧自治体に商工会議所・商工会、観光協会等があります。平成24年には長岡駅と直結した庁舎が完成。名称は長岡の方言で「会おう・会いましょう」を意味する「アオーレ長岡」で、5千人を収容するアリーナが併設されています。

そのアオーレ長岡のアリーナを本拠地としているのがプロバスケットボールチーム「アルビレックスBB」です。施設管理は「NPO法人ながおか未来創造ネットワーク」で、4〜5年前からアルビレックスBBを応援するお店独自のサービスが記載された「おもてなしサービスマップ」を発行しているとのこと。

また、長岡市商店街連合会では会員にもチームに興味を持ってもらおうと、入場料の半額を負担し観戦してもらいました。

現在は、抽選で選手のサイン入りユニフォームや商店街の優待チケットが当たる催しも実施し、地域の方に好評との



長岡駅から直結する「アオーレ長岡」への連絡通路には選手のユニフォーム姿の写真や試合結果などが掲載され、道行く人の目を引いていました。また、日本人選手も多くは市内に居住しており、チームとして学校の出張授業などをしている学校の出張授業の輪が広がっています。

今回の研修は、プロスポーツと地域の連携などを視察することが目的でしたが、長岡市やアルビレックスB、地域などの取り組みは日本ハムファイターズのポールパークが開業する本市においても大変参考となるものが多く、今後商業部会での検討にも良い材料となりました。

工業部会（部会長 原田 敏光）

工業部会の街づくりへの取り組み ポールパークの進捗状況と

意見交換

2月13日、第5回幹事会を開催。ポールパークの進捗状況等について、北広島市ポールパーク推進室の川村室長より説明を受け、工業部会としての関わり方等について意見交換をしました。

川村室長からは、ポールパーク全体の名称が「北海道ポールパークFビレッジ」に決定したことや市の来年度予算でポールパーク関連として30億円計上されていること、4千台の駐車場やホテルが建設されること、JR北広島駅改修などの説明がありました。

意見交換では、ポールパークに関する情報を早く教えて欲しい。市内事業者を利用して欲しい。北広島の特産品販売所を設置できないか。騒音対策はどうなっているのかなど、質問や意見がありました。川村室長からは、北海道ポールパークとの契約上、市が知らない間に何か計画されることはない。海外からの来場者も考えると本市だけの物産では対応できない。北海道全体の特産品等を販売する場所の設置は決まっているので、その運営には市としても関わりたい。騒音問題では、北広島高校関係者等とも協議しており、夜間や休み中の工事も考えているとの回答がありました。また市内事業者の利用については、市としても日ハムなどにお願しているが事業者自身で何ができるか積極的に提案して欲しいとの要望がありました。

今春よりポールパークの工事が本格的に始まり千人単位の工事関係者が当市に入ることになり、駅西口周辺の再開発も動き出します。これまで工業関係者は街づくりに直接関わる機会が少なかつた

が、北広島市が大きな転換点を迎える部会としても未来に貢献できるような提案をしたと幹事会で話し合われました。

青年部（部長 西尾 広美）

北広島ベンチャーキッズ事業

販売体験に23名参加

2月1日、第34回ふれあい雪まつり会場で、北広島ベンチャーキッズ事業を実施。市内小学校高学年の児童23名が販売体験と決算報告会をしました。

この事業は、子供たちにお店の設立から仕入、販売、決算等の模擬体験を通して、行動力や協調性、自立心を養ってもらい、将来の地域商工業の担い手を育成する目的で実施しています。

昨年12月から今年1月まで、販売準備のための児童会議を3回開催。児童は4班に分かれ、流通の仕組みや接客などについて勉強を重ね、各班で販売商品を決めて事業計画書を作成し、販売体験に備えました。

今回は、アメリカカンドッグ、じゃがバター、フライドポテト、からあげ、ホットチョコバナナ、ホットタピオカ、ココア、コーヒールを販売。子供たちは事業目標を達成するため、大きな声でお客さん呼び込みや、完売するため値下げをするなど工夫を凝らしていました。

販売終了後、石狩教育研修センターに移動して決算報告会をし、各班の売上や利益などを発表。事業計画の売上金額には全班達することができず、赤字となってしまった班もありました。が、落胆せず売上が伸びなかった原因やどういいう工夫が必要だったか話し合っていました。

今回参加した子供たちからは、お客さんの呼び込み、商品の宣伝、笑顔でお客さんに接することが何よりも大切だとの意見が出ていました。



女性部（部長 根岸 敏子）

印象を変えるポイントメイクを学ぶ

新年一泊研修

1月26日、27日に新年一泊研修を定山溪鶴雅リゾートスパ森の舘で実施し、14名が参加しました。

研修会ではポール北広島店の村藤順子氏を講師に「お客さまに好印象をあたえるためには」をテーマにメイクについて講話してもらいました。

人の行動が他人にどのような影響を及ぼすかという「メラビアンの法則」では見た目などの視覚情報が55%を占めるそうです。ほかに口調などの話し方が38%、会話の内容などの言語情報が7%というもので、人に印象づけるための表情はとても大切とのこと。

今回は色使いを変えるだけで印象が変わる口紅やチークの使い方を教えていただき、普段は使わないような色味に挑戦し、2つのポイントメイクで印象がどれだけ変わるのかを体験しました。

新年一泊研修は平成28年度以来の実施となりましたが、年末年始で忙しかつた参加者もゆつくりとお風呂や食事を楽しみ親睦も深めました。



確定申告等相談会のご案内

当会の顧問税理士である吉田高志先生が、下記の日程で確定申告等の相談に応じます。

日時 3月 3日、 6日、 9日
10日、12日、13日
時間 10時～16時
場所 北広島商工会館2階会議室1
相談料 無料
職員も対応しております。
お気軽にご相談ください。

新型コロナウイルス関連肺炎の流行に伴う 中小企業向け相談窓口及び融資取扱について

【融資対象者】 新型コロナウイルス関連肺炎の流行による直接的又は間接的な影響を受けた事業者であって、制度取扱開始後、原則として最近1か月間の売上高等が前年同期比で10%以上減少しており、かつ、その後2か月間を含む3か月間の売上高等が前年同期比で10%以上減少することが見込まれる中小企業者等

- 【資金使途】 事業資金(道制度融資の借換に要する資金を含む)
- 【融資金額】 1億円以内
- 【融資期間】 10年以内(うち据置2年以内)
- 【融資利率】 <固定金利> 5年以内 年1.0%、10年以内 年1.2%
<変動金利> 年1.0%以内(融資期間が3年を超えるものに限る)
- 【担保及び償還方法】 取扱金融機関の定めるところによります
- 【信用保証】 すべて信用保証協会の保証付きとします
- 【取扱金融機関】 北海道銀行、北洋銀行、道外本店銀行道内支店、農林中央金庫・商工中央金庫の道内支店、信用金庫、信用組合
- 【融資の申込み】 申込みに必要な書類は、次のとおりです。商工会に「融資あっせん」の申し込みをしてください。
 - ・申込書(北海道中小企業総合振興資金融資あっせん申込書)
 - ・調書(経営環境変化対応貸付【認定企業】の融資に係る調書)
 - ・最近2カ年分の決算書
 - ・法人の場合は、商業登記簿謄本 又は 登記事項証明書
 - ・設備資金の申し込みの場合は、設備等の見積書又は契約書

【問い合わせ先】
新型コロナウイルス関連肺炎の流行に伴う経営・金融特別相談室
北海道経済部地域経済局中小企業課 電話 011-204-5346
石狩振興局産業振興部商工労働観光課 電話 011-204-5827

GS1事業者コード登録受付業務の終了について

これまで商工会を窓口としていたGS1事業者コードの登録手続きについて、2020年3月末日をもって終了し、2020年4月1日以降は、事業者が直接開発センターへ手続きを行うこととなりました。

<ご対応につきましては、下記のお問い合わせ先へ>

一般財団法人 流通システム開発センター
GS1事業者コード担当 大島、小柄、稲場
電話 03-5414-8511 FAX 03-5414-8503
メール jmac@dsri.jp

小規模企業共済制度

経営者の退職金

小規模企業共済制度は退職後のゆとりある生活を応援する安心の共済制度です。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

全国で約120万人の経営者が加入
掛金は全額所得控除
無理のない掛金
月額1,000円～70,000円の範囲で自由に選択

共済金の受取りは一括・分割・併用の3タイプ
受取り時にも税制面での大きなメリット
災害時や緊急時には契約者貸付けの利用が可能